令和７年 ３月７日作成（第 1.0 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学総合科学教育研究センターでは、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学医学部一年次に履修したテュートリアル１のポートフォリオの利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

２０２５年４月

福島県立医科大学総合科学教育研究センター　亀岡弥生

■ 研究課題名

質問力向上を目指した授業による学生の「学びにおける質問の意義」の認識形成に関する研究

■ 研究期間

２０２５年４月　～　２０２６年３月

■ 研究の目的・意義

批判的思考の基盤となる発問（questioning）能力は、医師の業務にも研究にも欠かせない能力です。テュートリアル１は、質問生成と議論を繰り返しながら、議論の意義を認識し、議論の方法を身に付けることを目的にした授業でした。その中で皆さんの質問に対する認識がどのように変わったのか、授業の内容とその認識の変化がどのように関連しているのかを明らかにするのが、本研究です。西洋人に比べて儒教文化圏のアジア人学生は、発言や発問が乏しく議論に加わる意思がないと、四半世紀にわたって指摘され続けてきました。本研究は、アジア人学生である皆さんが、議論からどのような学びを得ているのかを示してこれまでの言説に反論し、日本人医学生の発問力向上をより効果的に醸成する授業を構築するためのものです。

■ 研究対象となる方

2022～2023 年度にテュートリアル１を受講した医学生が対象です。

■ 研究の方法

授業で使用したポートフォリオから、各回の授業から「学んだこと、気づき、感想」の欄の記述に対して、質的解析（内容分析、テーマ抽出）と量的解析（授業内容とテーマ記述頻度の関係）をします。ポートフォリオの内容は、学籍番号、氏名から切り離して、個人が特定されない形で解析されます。解析結果も個人が特定されない形で医学教育の研究・発表に使用されます。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

２０２５年５月１日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は、福島県立医科大学総合科学教育研究センターであり、研究責任者は、総合科学教育研究センター　亀岡弥生です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学総合科学教育研究センターで利用し解析を行います。

研究責任者（所属）総合科学教育研究センター　（職）教授（氏名）亀岡弥生
研究分担者（所属）医療人育成・支援センター　（職）助教（氏名）安井清孝

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関への資料の提供は予定していません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、ポートフォリオがこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずにポートフォリオの利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295　福島県福島市光が丘 1 番地
公立大学法人福島県立医科大学総合科学教育研究センター　担当：亀岡弥生
電話：024-547-1361　　FAX：024-547-1361
e-mail：yayois@fmu.ac.jp